

## 空運大手 2 社が 21/3 期決算を公表—今後の業績回復の動向を注視

以下は、日本航空株式会社（JAL、証券コード：9201）および ANA ホールディングス株式会社（ANAHD、証券コード：9202）が 21/3 期決算を発表したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

- (1) JAL は 5 月 7 日、ANAHD は 4 月 30 日に 21/3 期決算を発表した。JAL（IFRS）は財務・法人所得税前利益（EBIT）3,983 億円の赤字（20/3 期 888 億円の黒字）、親会社の所有者に帰属する利益 2,866 億円の赤字（同 480 億円の黒字）、ANAHD は営業利益 4,647 億円の赤字（同 608 億円の黒字）、親会社株主に帰属する当期純利益 4,046 億円の赤字（同 276 億円の黒字）となった。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、国際線、国内線とも旅客需要が落ち込んだことが赤字の主因である。また、22/3 期業績予想について、JAL は合理的な数値の算出が困難なため開示を見合わせるとしたが、ANAHD は営業利益 280 億円、親会社株主に帰属する当期純利益 35 億円と黒字回復を見込むと公表した。
- (2) 21/3 期は両社とも過去最大の最終赤字となったが、下期にそれぞれ増資を行い、さらに ANAHD は劣後ローンの調達を実施した。期末時点の JAL の親会社所有者帰属持分比率は 45.0%（20/3 期末 51.2%）、ネット DER は 0.1 倍（同実質無借金）、ANAHD の劣後ローンの資本性評価後の自己資本比率は 37.6%（同 41.4%）、ネット DER は 0.4 倍（同 0.6 倍）となり、大幅な悪化を回避して相応の財務健全性を維持できている。手元流動性を十分に確保しており、取引金融機関の支援姿勢にも変化がないことから、資金面で特段の懸念はない。また、両社とも様々なコスト削減策によって固定費を圧縮し、損益分岐点を引き下げている。遅れている国内のワクチン接種も徐々に進みつつあり、旅客需要の回復に従って 22/3 期以降の業績は改善に向かうと想定される。
- (3) もっとも足元で旅客需要の回復は鈍く、先行きは楽観できない。国内線の旅客数は一定の回復が見られるものの、新型コロナウイルス感染拡大の状況や緊急事態宣言の影響などによって旅客数は増減を繰り返している。国際線の旅客数は入国・渡航規制により、依然としてコロナ禍前の 5%前後の水準で推移している。また、WEB 会議の普及などによって、中長期的にこれまで主力であったビジネス需要が戻らず、従前に比べて収益性が低下する可能性が懸念される。財務面でも、資本の毀損は抑制できているものの、資金の流出が続いていることから有利子負債残高は大幅に増えている。空運大手 2 社の信用力には引き続き下方圧力がかかっていると考えており、今後の旅客需要の動向や業績回復の進捗などを確認しながら、格付に反映させていく。

（担当）千種 裕之・水川 雅義

### 【参考】

#### 発行体：日本航空株式会社

長期発行体格付：A 見通し：ネガティブ

#### 発行体：ANA ホールディングス株式会社

長期発行体格付：A 見通し：ネガティブ

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データ



を含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル